

令和2年度 第3回 日進市子ども施策推進委員会 議事録要旨

日時 令和3年3月15日（月）午前10時から

場所 日進市役所南庁舎2階 第5会議室

出席委員 津金美智子、伊藤龍仁、南千景、高田由紀、衣川友紀、関根聖美、齋藤由美、牛田由美子、
早川真理、早川里美、野澤宏之、井上晴子

欠席委員 なし

事務局 子育て支援課 棚瀬課長、三好補佐、味岡係長
こども課 村瀬補佐、井筒係長

傍聴可否 可

傍聴有無 なし

<次第>

・あいさつ

・議題

(1) 第二期日進市子ども・子育て支援事業計画の推進について

① 保育施設の運営等に関する計画について

② 令和3年度保育園等利用申込状況について

③ 令和3年度放課後児童クラブ等の申込状況について

・その他

<議事録要旨>

・あいさつ

【委員長】(あいさつ)

・議題(1) 第二期日進市子ども・子育て支援事業計画の推進について

【事務局】(①保育施設の運営等に関する計画について説明)

【委員】人口推計が第二期日進市子ども・子育て支援事業計画と保育施設の運営等に関する計画とでは乖離が生じていると説明があったがなぜか。また、人口推計によれば子どもの人口が微減傾向にあるが、要因を分析しているのか。

【事務局】人口推計は、企画政策課が行っているため詳細は分かりかねますが、実績として、ここ最近まで年間の出生数が1,000人を超えていました。しかしながら、ここに来て年間の出生数が1,000人を割り込むようになりました。人口推計では、この傾向が続くと推測して積算をしています。また、区画整理などのまちづくりの計画も人口推計を行う上で影響を及ぼしています。

【委員】人口動態などの予測を出すときに、緩めに数値を設定したり、厳しめに数値を設定したりすることがあり、それにより数値に乖離が生じることがある。日進市が、人口推計にあたり厳しめの数値を採用したのかを確認したかった。

【事務局】あくまでも現時点における情勢を踏まえて人口を推計したものであるため、今後の情勢に応じて変わることが想定されています。

- 【委員】 これまでは量を増やすことに重点が置かれていたが、量の充実もさることながら、サービスの質を高めていくための計画なのか。
- 【事務局】 はい。
- 【委員】 計画書の10ページに公立保育園において経済的に配慮が必要な児童を受け入れていくとの記載があるが、将来的には、入所の選定にあたり、そういった事情が加味されるようになるのか。
- 【事務局】 現状は、保護者の就労状況などを点数化して判定しているため、配慮を要する児童への対応が不足しています。公立保育園では、そうした配慮を要する児童が埋もれず、支援の手を差しのべられるようにしていく必要があると考えています。
- 【委員】 そうすると、配慮の要する児童は点数が高くなるということか。
- 【事務局】 具体的に点数で対応していくのか、他の手法によるのかは現時点では未確定です。今後、保育園運営協議会に諮りつつ検討していくこととなります。また、現状でも受け入れは行っていますが、現場の受け入れ体制も充実させていく必要があると考えています。
- 【委員】 25ページから26ページにかけてのアンケート結果で、評価できる項目は数値が高くなっているが、不満を感じる点については「なし」が最も多くなっている。アンケートの結果のなかにどのような不満が書かれていたのか。
- 【事務局】 このアンケートについては、個別には把握していませんが、指定管理施設なので市がモニタリングを実施する際に、園で実施しているアンケートの内容を確認しております。その中では、保護者から改善要望なども出されていますので、指定管理者がその対応にあたっています。
- 【委員】 梨の木学区を民生委員として担当しているので、保護者から聞かれたときにどう説明するといったかを確認したかった。
- 【事務局】 保護者からのご意見を聞く機会は確保されているものと考えています。また、内容についても、苦情よりは前向きなご意見が多いように把握しています。
- 【委員長】 意見であるが、7ページのところで幼児教育について触れられている。幼児教育を希望される方が多くなっているが、幼児教育のとらえ方が、保護者の方や一般の方も含め人により受け止め方が異なっているように感じている。教育というと、文字が書けるとか計算ができるなどのイメージがあるが、幼児教育においては、遊びを通じた体験のなかで文字や数に触れ感覚を豊かにすることが、小学校での教育につながるものと考えており、また重要な視点であると考えている。子どもが遊びの中で経験することを活かせるような保育の質がもたられているように思う。公立保育園の経験値の高い保育士の経験を、日進市全体に広げていていただきたい。
- 【委員】 多様なニーズに対応するため、保育士の質が問われると思われ、研修等が必要になってくると思うがどうか。
- 【事務局】 計画には、具体的な研修の中身までは触れていませんが、現状、保育士などが集まって研修等をする環境が整っていないので、研修を充実させていくために、東地区と西地区に拠点園を設け、そこにそういった機能を設けようとしています。また、公立、民間問わず、日進市の保育の質を向上させていきたいと考えています。
- 【委員】 支援員が重要な役割を担っていくことになるように思うが、その支援員の質の担保はどのように考えているのか。また、支援員は指導保育士の下で活動するとあるが、指導保育士とは

どのような人か。

【事務局】指導保育士は、公立保育園の9園を統括することを担っています。そのほか、民間事業者に対しても助言を行っています。これまでは、1人の指導保育士で市内全域をカバーできていましたが、民間保育園が増える中で、負担が大きくなっています。支援員は、公立保育園の園長経験者を想定しており、指導保育士の下、現場での指導にあたることとなります。

【委員】7ページのアンケート結果をみると、市民の方が保育についてよく理解されているものと推測される。安心して預けられて、そこで情緒を養っていく環境であることが理解されている。現在のコロナ禍において、いかに継続的に保育を行っていきけるようにしていくかを考えていく必要があると思うがどうか。

【事務局】公立保育園については、令和2年3月にすべての保育室に空気清浄機を配置したり、衛生用品を順次配備しています。また、民間園についても、国の補助金を活用して支援をしています。

【委員】クラスター等のリスクがあると思うがどうか。

【事務局】国から指針も示されていますので、それに従って対応していくこととなります。また、こども課に所属する保健師が助言等を行っています。

【事務局】(②令和3年度保育園等利用申込状況について説明)

【委員】残り枠のある園については、年齢を問わないわけではないということか。

【事務局】残り枠は、年齢ごとの残り枠の合計となっています。

【委員】0、1、2歳児向けの保育園は埋まっているようだが、残り枠のある園でも0、1、2歳児は埋まっていることが多いのか。

【事務局】例年、0、1、2歳児はお待ちいただく方も出ている状況です。

【委員】私も経験したが、やはり0、1、2歳児は入りにくいんですね。

【事務局】ご指摘のとおりですので、0、1、2歳児を受け入れる小規模保育園の拡充を図っており、令和3年度については定員を19名拡充しています。また、再来年も1園拡充できるよう進めています。

【委員】人口推計では微減傾向にあっても、0、1、2歳児は厳しい状況にあるんですね。

【事務局】計画では、すべてを減らす計画ではなく、充足している3、4、5歳児については、定員等を調整していきますが、0、1、2歳児の人口は微減してもニーズが高まっていることから引き続き需要があると見込んでいます。

【委員】職場復帰にむけて、日進市の預け先を探すときに何を見たらいいのか。

【事務局】直接来庁される方もみえますし、市のホームページに各園の特徴を掲載しています。

【委員】日進市の預け先の情報を得るのが難しいように感じているがどうか。

【事務局】基本的には、市の広報誌やホームページでご案内しています。また、市の広報誌やホームページでは、他の情報もあふれていることから、令和3年1月から「子育てアプリ」を導入し、子育てに関する情報を的確にお知らせできるよう工夫をしています。

【事務局】(③令和3年度放課後児童クラブ等の申込状況について説明)

【委員】令和2年の春の緊急事態宣言中も開所していたのか。

【事務局】午前中から開所をしておりました。

【委員】職員の方も大変だったのでは。

【事務局】緊急事態宣言が長期化する中で、職員に多大な負担がかかっていましたが、子どもの安全をお預かりするよう尽力いただき、大きなトラブルもなく開所することができました。

【委員長】他に無ければ、以上で第3回子ども施策推進委員会を終了します。

(閉会) 午前11時18分